

～ 会派の活動を報告します ～

政友会

当会派は、6月4日にサンオーコミュニケーションズの視察を行った。インターネット・オフィスネットワーク・システム開発・人材育成・福祉支援などを手掛ける会社で、古河市のイングリッシュキャンプにも支援いただいている会社である。視察内容を今後に生かすために、地元

企業との教育ICT等連携を推進していきたい。

5月21日には新型コロナウイルスへの緊急対策の実施に関する要望書を市長へ提出した。要望書には、市民生活への支援拡大のための施策として、7つの項目をあげた。

今後についても、新型コロナウイルス感染症防止に努めるとともに、苦境にあえぐ市民への支援策を強く要望していきたい。



鈴木 隆 佐藤 泉
大島 信夫 鈴木 務
小森谷博之 渡邊 澄夫

古河市公明党

古河市公明党は新型コロナウイルス感染拡大への「緊急対策要望書」を、2月20日と4月16日に市長へ提出しました。国の支援策が市民に遅滞なく届くための万全な体制づくりと、市民に寄り添った市独自の支援策を求め、①感染が疑われる市民の相談体制の強化、②市民の経済的

負担の軽減を目的に、水道料金・給食費の免除、子育て支援・企業支援など、最大限の支援を求めました。

今般のコロナ禍において、本市では次のような支援策を行っています。①国の1人10万円給付について、申請書のダウンロード方式を実施し早期申請を実現。②子育て世帯の子ども1人に1万円を、市独自に給付。③水道基本料金および給食費4か月分の免

除等。

古河市公明党は、今後も、市民生活の安全と安心を見据えた活動を、着実に進めてまいります。



要望書を提出する古河市公明党
高橋 秀彰 佐藤 稔
靄見久美子 渡辺 松男

真政会

新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るい多くの尊い命を奪い、経済に大きな打撃を与え、市民生活にも大きな不安をもたらしています。そしていまだ収束の兆しもみえません。

この非常事態の中、政治の果たすべき役割は大きく、責任も重大であります。

真政会としては、その対策と市民の生命、安心、安全な生活を守るために、検査体制の確立、生活支援の拡大、感染拡大防止などの緊急な事項を市長へ要望しました。コロナ禍による市民の不安を解消するためには、PCR検査などの検査体制の充実と安心して治療が受けられる医療体制の整備が必要であります。

また、雇用を支える中小企業の経営の安定化はかせません。

この困難な事態を市民と市と議会が一体となって乗り切らなければなりません。



黒川 輝男 赤坂 育男
青木 和夫 稲葉 貴大
園部 増治